

令和8年度 我が校の学び力向上策

【県目標】第Ⅲ期学び力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

【令和8年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】

第4期大津市教育振興基本計画「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

【学校の目標】

- 自尊感情の育成「自分を大切に」
- 人権意識の向上「友だちを大切に」

【現状と課題】

- 視点1
(1) 全校的な基礎学力は向上してきているが、自分の考えをよりよく表現する力に弱さが見られる。
(2) 1人1台端末の日常的な活用により、情報を収集したり分からないことがあった時にすぐに調べようとする習慣が身に付きつつある。しかしながら、一人ひとりの学びやすさや学びの深まりといった学習の質の向上につながる端末活用が十分できていない。
- 視点2
「学校は楽しい」と思う児童の割合は高いが、自分に自信のない児童、規範意識や自他を大切にする意識の低い児童が多い。
- 視点3
中学校における園校種間連携・接続の推進について必要性を感じている教職員が少なくない。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」 **肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①一人ひとりが自分の考えをまとめ、表現・記述する時間を各教科等の学習において確保するとともに、児童が「できた」「わかった」を実感できる授業を実現する。 ②学びやすさや学びの深まりといった学習の質の向上につながるよう1人1台端末等を効果的に活用する。	①授業はよく分かる【学校評価 児童用アンケート】2.5以上 ②PC・タブレットなどのICT機器を活用することにより、(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる (2)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる【全国学力・学習状況調査】肯定的な回答85%以上

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①安心できる居場所を提供する。 ②多様性を認め、思いやりの心を育む道德教育の推進を目指して、「考え、議論する道德」に向けた授業改善に、校内研究を通して取り組む。	①(1)自分には、よいところがあると思いますか(2)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか【全国学力・学習状況調査】肯定的な回答85%以上 ②自尊感情や自他を認め合う心の育成などの人権教育の視点に立った教育実践を行います【学校評価】2.7以上

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①「膳所」の教育資源を生かすとともに、子ども・家庭・地域の現状や課題、展望などについて中学校区内の校園や関係機関・団体と共有し、「学び力」向上の取組を共通理解・共通実践する。	①保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用【学校評価】2.6以上 ①他校園で実施される研究授業や校内研修会の積極的な参加に努めます【学校評価】2.4以上

◇「学び力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・5月の職員会議において、「学び力向上策」について全ての教職員で共有するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりやホームページで保護者や地域に発信する。
- ・全ての教職員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については学び力推進リーダー、視点2については校内研究部および生徒指導部、視点3については教務主任が中心となるとともに、それぞれが連関して組織的に実践につなげる。
- ・職員会議や運営委員会において取組の状況等を共有し、学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における教育データをもとに、本校の強み・弱みを捉え、改善策について(校内研究部、OJTグループ、教科部会等)でまとめ、8月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する評価結果を学校だよりやホームページ、学校運営協議会の場で保護者や地域に発信する。